

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

宮城県

行事名称	奥松島縄文村歴史資料館防火訓練
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 26 日 (月) 9 : 30 ~ 11 : 15
実施場所	奥松島縄文村歴史資料館 (宮城県東松島市宮戸字里 81-18)
主催者	東松島市教育委員会生涯学習課 (文化財係・奥松島縄文村歴史資料館)

■実施内容

訓練の想定

市指定文化財の一部を含む多くの文化財資料を収蔵している奥松島縄文村歴史資料館において、展示室・事務室・収蔵庫と接し建物の中央部に位置する給湯室付近から出火した想定での通報訓練及び避難誘導訓練。また、展示室・事務室・収蔵庫それぞれにおいて発火したことを想定して、館内外の消火設備の確認、消火用ポンプ一式の動作確認訓練。

訓練の内容

- ①通報訓練 (119 番通報の例を参考に通報の手順確認)
- ②避難誘導訓練 (出火場所による避難経路の確認)
- ③館内消火設備の確認 (消火器、AED、火災報知機、排煙設備等の場所の確認)
- ④消火用ポンプ一式の動作確認訓練 (今年度、収蔵庫の増築に伴い新たに設置された消火用ポンプ一式の使用手順の確認と動作確認を含めた実地訓練)。

参加者及び役割分担

東松島市教育委員会生涯学習課文化財係及び奥松島縄文村歴史資料館職員 (15 名) : すべての訓練行程を全員で確認

特に工夫した点

発災時に職員の誰もが柔軟に対応できるよう、参加者全員がすべての内容を同じように理解するため、全員で通報から避難誘導、消火設備の設置場所及び消火用ポンプ一式の動作確認までの全工程を確認した。また、今年度に新規に設置された消火用ポンプ一式の動作確認訓練においては、ポンプを保管場所の倉庫から出して放水用ホースを接続し、館内に実際に引き込んで、実地で動作経路や必要なホースの長さの確認を行った。さらに、水槽とポンプを連結して、屋外において実際に放水訓練を行って、そのひとつひとつの手順を確認した。

問題点・課題

- ④消火用ポンプ一式の動作確認訓練について、以下の問題点が確認された。
- ・ポンプの移動や実際に放水するまでの過程で同時に少なくとも 3 人以上の人員が必要であること。
 - ・ポンプのエンジン音で声がかき消されることから、情報伝達に工夫が必要であること。
 - ・参加者の多くが使い方を把握できておらず、設置場所に具備されたマニュアルを見ただけでは迅速な対応ができない。
- これらのことから、定期的の実施訓練が必要であり、また使用方法の改善とマニュアルの更新を進める必要がある。

その他

訓練を実施することによって、想定されていなかった具体的な問題点を発見することができた。また、非常時に際してスムーズな活動を行うためには、通常時における、館内の整理整頓や場所の適切な使い方の意識づけが必要であることが認識された。

訓練風景

奥松島縄文村歴史資料館防火訓練風景写真（数字は訓練内容）



①通報確認訓練



②・③避難誘導と消火設備確認



②・③避難誘導と消火設備確認



③外消火設備確認



④ポンプの配置



④展示室内ホース引き込み確認



④収蔵庫入口ホース引き込み確認 ④収蔵庫内ホース引き込み確認



④ポンプ作動手順確認



④放水訓練